

2013年度研究調査事業実績報告書

日 付：2014年5月30日

委員会名：二輪車の運動特性部門委員会

委員長名：片山 硬

報告書作成者：平澤 順治

1. 研究調査テーマ

二輪車の車両運動特性表現のガイドライン作成に関する取り組み

2. 研究調査事業の概要

二輪車の車両運動特性を表す言葉に関し、走行実験から得られた定量的なデータと突き合わせながら、ライダー間の意思疎通をより適切にする表現のガイドラインを作成し、二輪車研究の進展と裾野の拡充を目指す。

二輪車の研究について議論を進める中で、運動特性を表現する『言葉』について、組織（企業）間・個人間のニュアンスに微妙な隔りがあるという問題点が明らかになった。例えば「リーンイン」・「リーンアウト」といった乗車姿勢の定義や、サスペンションが「固い」・「柔らかい」といった感性評価に関する語である。

このような二輪車に関する言葉の表現法について、メーカー・産学の垣根を越えて一定のガイドラインを示すことができれば、二輪車の開発現場・相互評価・運転教習の現場などにおいて効率化が図れるものと期待できる。また、このような試みは、自動車技術会を母体とした産学連携で行なうことが望ましいと考える。

3. 研究調査の成果

成果について具体的にご記入ください。

今年度はECOPA（静岡県小笠山総合運動公園）駐車場において、実験車両1台を用いて走行試験を実施した。凹凸等の少ない舗装路面において実験を行い、貴重な計測データを得ることができた。また、メーカー・大学間でミーティングを重ね、乗車姿勢等についての擦り合わせを通してニュアンスの問題に取り組むとともに、テストライダーに対するアンケート評価も行った。

走行試験概要

- ・日程：2013年9月16日（月） 事前コース下見
9月17日（火） 8：00～17：00
9月18日（水） 8：00～17：00
- ・場所：ECOPA（静岡県小笠山総合運動公園） 東第3駐車場
〒437-0031 静岡県袋井市愛野2300-1
- ・実験内容：定常円旋回試験、レーンチェンジ試験
(試験車両1台、ライダー3名)

4. 実績と計画との差異

項目ごとに上段に計画を黒の矢印で記入していますので、下段に実施結果を白抜き矢印でご記入ください。

実施内容		2013年上半期							2013年下半期					
実施先	作業内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日本大学	試験機調整	→												
二輪車WG	ライダーミーティング			→										
				⇒		(6/11 WGメンバーミーティング)								
二輪車WG	走行実験(1)					→								
日本大学	データ解析							→		⇒				
二輪車WG	ライダーミーティング									→				
二輪車WG	走行実験(2)									→				
												(予算とコース費の兼ね合いから、今年度は走行実験を1回のみとした)		
日本大学	データ整理									→				
二輪車WG	用語のまとめ											→		
二輪車WG	報告書作成											→		
												⇒		

5. 委員会活動への影響

今回の研究調査において委員会活動へ影響した点についてご記入ください。

現在に至るまで見落とされがちであった言葉の問題に取り組み、またこの問題を前提として共同で走行実験を行なうことで、二輪車の運動特性に関して今まで以上に活発な議論が展開できたものとする。今後、WG活動を推進しガイドラインを制作していく中で、各委員会メンバー相互の研究交流、情報交換などがより一層促進されるものと期待できる。

6. 今回の研究調査結果について、会員への還元方法を下記より選択してください
(複数回答可)。

- 会誌への記事掲載
- 春季大会オーガナイズドセッションでの発表
- 春季大会フォーラムでの発表
- シンポジウムでの発表 (2015年度に開催予定)
- 出版物の発行 (印刷物)
- 出版物の発行 (CD-ROM)
- その他 (具体的にご記入ください)

定例委員会における話題提供の実施等により、WG活動メンバー以外の委員とも情報の共有を図っている。

測定方法、評価手法に一定の道筋が出来上がってきたため、今後は委員だけでなく会員に対してより具体的な形で提供できるよう、その時期や媒介についても議論を深めていく。

7. その他要望等があればご記入ください。

8. 支給額と執行額

支給総額	500,000 円
執行額	499,911 円

費 目		支給額	執行額
印刷製本費	資料印刷費、複写費、編集外注費(英訳)、CD制作費		
会議費	会場借上費	50,000	51,040
諸謝金	原稿料		
通信運搬費	電話料、切手代、宅配料、運送用リンク代	50,000	44,000
委託費	外部委託、同時通訳代、電算データ入力代	10,000	4,000
開発費	システム開発費		
資料購入費	参考資料等購入費		
物品購入費	部品代、看板等制作費		
消耗品費	燃料代、実験に必要な消耗品類	30,000	24,021
臨時雇用費	アルバイト代	350,000	368,800
その他	(保険)	10,000	8,050
合 計		500,000	499,911

9. 具体的な成果物

報告書は自由に記入願います。(資料が別にあれば添付してください)

- ・本事業に基づくWG活動の研究成果を2013年度春季大会のOSにおいて1件、口頭発表を行なった。
- ・走行実験で使用中の実験車両を2013年度開催の国際会議“BMD2013”において展示し、広く国内外の二輪研究者に本事業を紹介した。
- ・本事業の活動成果を2015年度開催予定のシンポジウムにおいて講演予定。
- ・委員内でデータの共有化、情報交換を進め、今後の一般会員、また広く一般への公開について検討をしていく。